

名古屋環状2号線の橋脚基礎工事

～都心部の渋滞解消に向けて～

発注者：愛知国道事務所
受注者：株式会社加藤建設

株式会社 加藤建設

安井 茂人

加藤建設に入社し、舗装工事や下水道工事、橋梁工事等のインフラ整備事業に携わらせていただき、本工事では監理技術者として現場の施工管理に従事しています。

～現場での役割、仕事内容～

我々の仕事は、現場監督として着手から完了までの現場運営をすることが主な役割である。現場運営の内容というと、測量や材料の手配、協力業者との工程調整、地域の方との調整、より良いものを作るための施工管理等です。



入社11年目

平成26年度 名三環春田野2高架橋中基礎工事
交通分散による渋滞解消や、中部国際空港、名古屋港など、物流拠点とのアクセスの強化が期待できます。

完成イメージ
P108 P109 P110 P111 完成イメージ

当工事の特徴
1. 工期短縮
2. 品質向上
3. 安全確保

工期 平成26年11月19日から平成27年11月20日まで

この工事は橋構造の道路の基礎の部分をつくる工事です。

国土交通省 中部地方整備局
愛知国道事務所
TEL.0120-302-758
〒466-0801 愛知県春日井市三軒がはら1-1-1

株式会社加藤建設
名古屋事務所
TEL.052-665-6072
〒466-0801 愛知県春日井市三軒がはら1-1-1

～現場に対する思い、意気込み～

私が現場運営にあたり一番大事にしていることはコミュニケーションです。作業するのも人であり、機械に乗るのも人である。自分の思いを伝えるためにもまずはコミュニケーションを図ることが大事と考えるからです。また、地域の方とのコミュニケーションも工事を進めるためには非常に大事なことであります。

今回の現場では中学生の通学路があることから、特に地域の方とのコミュニケーションを重点課題とし、まずは安全第一を念頭に明るい現場づくりに励んでいきます。そして、地域の方が我々、現場で働く人に気軽に声をかけてもらえるような環境づくりに努めていきます。

～建設業の魅力～

「地図に残る仕事」とよく言われ、土木構造物は長年にわたり人々に利用されて我々の生活には必要不可欠な物として地図だけでなく人の心にもしっかりと刻まれています。そして、災害時には困っている人の役に立つことができる仕事でもあります。そんな建設業は造る楽しさだけでなく、たくさんの方が繋がり、協力しあうからこそできる仕事であり、地域の人や造った物を利用する人、実際作業に携わった人みんなの心に残る物造りができるといったことが建設業の魅力であると思います。

～未来の技術者へメッセージ～

当たり前のように利用している道路、橋、水道、下水等の整備をしているのは建設業であり、日々の生活に密着している仕事です。我々が日常生活をよりよくするために行うインフラ整備を通じて、人と人との繋がりを感じていき、人や社会に役立つ物造りを行う中で構造物が完成した時の達成感を一緒に味わっていきましょう！
また、自然環境との共存を目指し、私たちと一緒に住みよい街をつくりあげていきましょう！

